

防災 減災 知恵袋

Vol.59 雨の強さと降り方を知っておこう！

天気予報等でよく耳にする「降水量〇〇mmの雨」というフレーズ。どの程度の強さの雨が降るのかをイメージしにくいかもしれませんが、雨の強さと降り方を知っておくことは、日常生活に役立つほか、災害時の避難等の判断材料にもなります。

気象庁では、天気予報等で表現される雨の降り方や強さごとに、どのような影響が想定されるかを示しておりますので、右の表を確認し、いざというときのために覚えておきましょう。

過去の防災・減災知恵袋も市HPで確認できます。

問 防災安全課 内線 2137



～雨の強さと降り方～

1時間雨量(mm)	予報用語	人の受けるイメージ	人への影響	屋内(木造住宅を想定)	屋外の様子
10以上～20未満	やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	雨の音で話し声が良く聞き取れない	地面一面に水たまりができる
20以上～30未満	強い雨	どしゃ降り	傘をさしていてもぬれる		道路が川のようになる
30以上～50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る		寝ている人の半数くらいが雨に気がつく	
50以上～80未満	非常に激しい雨	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	傘は全く役に立たなくなる		水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる
80以上～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる			